



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和4年11月7日
第41号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

授業における3つの誤解

授業づくりのために

授業をするとき、常識と思われていること
それは、本当に常識ですか・・・？

次の点については、誤解の払拭も必要なようです。

① 「丁寧」 = 「わかりやすい」という誤解

わかりやすく授業にするには、「丁寧に細かく説明する」「丁寧に話す」と考えがち
でも、説明や話の長い授業が、必ずしもわかりやすく楽しい授業、とは限りません
ざっくりつかんで、ざっくり話した方が、案外「わかりやすい」もの
「短い言葉で」「必要最低限の内容を」「強弱をつけて」「明快な発話で」伝える、が原則

② 「授業は導入がきちんとできれば成功」という誤解

授業の導入では「楽しそうだった生徒」
授業が進むにつれ、集中力が下がり、手遊びや居眠り・おしゃべり増加 ⇒ よくある光景
ということは、導入だけでは不十分ということ
「授業中盤で生徒の目がもう一度変わる仕掛け」、が必要

③ 「授業のカギは生徒との人間関係である」という誤解

「人間関係」と「信頼関係」は別物
生徒との人間関係が良くても「授業への信頼度が低い」先生がいます
(良い先生なんだけど、授業がよくわからない、というパターン)
一方、人間関係がさほど深くなくても「授業の信頼度が高い」先生もいます
どちらが「授業として良いか」は明白
人間関係も大切ですが、それ以上に「授業には信頼関係が大事」、ということ
信頼される授業のための「知識」「指導技術」「話し方」のスキルアップ、は必須